



どのように祈り、  
その答えを得るか

アーニー Y . シモムラ

名古屋クリスチャンセンター教会編

## 求める祈り

祈りには、さまざまの種類がありますが、この本では「求める祈り」について、聖書を通して学んでいきましょう。福音書の中で、イエス・キリストが私たちに、求める祈りについて語っています。

求めなさい。そうすればあなたがたに与えられます。捜しなさい。そうすればあなたがたは見つけます。たたきなさい。そうすればあなたがたに対して開かれます。というのは、すべて求める者は受け、また捜す者は見つけ出し、また、たく者には開かれるからです。

マタイ七・七、八

天の父は、あなたが必要としているものを「求めなさい！」と言っています。彼はけちなお方ではありません。彼はあなたの求めに応じて豊かに与えて下さる方です。

あなたは今まで、あなたの祈りの中で、安価なものや小額のお金しか求めたこ

とがなかったかも知れませんが。自分の考えで、「こういう高価なものは、あと何年かしてから…」と思って、祈り求めることを控えてきたかもしれませぬ。しかし天の父は、あなたが積極的になつて求めてくるのを待っているのです。

天の父は、あなたが、神の栄光のために良い家に住み、良いものを着、良いものを食べることを望んでいます。彼は、ご自分の子どもたちが受け取るようにと、あらゆる祝福をイエス・キリストにあつてすでに与えてくださっています。そして、あなたがそれをいつ求め、受け取ってくれるだろうかと待っています。ですから、あなたは天の父に積極的に求めて行く態度を持つべきです。

ヤコブは、多くのクリスチャンたちが、求めないゆえに持つていないと言っています。

…しかし、得ることができません。あなたがたが求めないからです。

ヤコブ四・二

天の父は、あなたの求めに応じて御使いを働かせ、また人々の心を動かして、

あなたに祈りの答えを与えて下さいます。

たとえあなたが熱心に神のために労苦し、いつも人々のためにとりなし祈っている人だとしても、だからといって、自分の必要のためには何も祈り求めなくても、自動的に与えられるというわけではありません。与えられないのは、あなたが求めないからです。あなたは、心からの願いをもって、積極的に天の父に要求するべきです。

祈り求めたことがその通りになるなら、あなたは祈ることがとても楽しくなってくるでしょう。しかし、あなたが祈り求めても、その答えを得られないなら、それはあなたの祈り方の何かがちがっているからです。あなたは、神のことは土台に基づいた正しい祈りをしなければいけません。

世界中のクリスチャンたちは祈っています。しかし彼らの多くは、ただ一方的に祈るだけで、その答えを得てはいません。私は十回祈ったなら、十回答えを得ます。それは私が、神のことに書かれている法則に従って祈っているからです。天の父は、祈りが答えられるための鍵として、いくつかの霊的な法則を私たちに与えてくださっています。それは、神のことはである聖書の中に書かれています。

す。あなたは番号式の鍵を見たことがあるでしょう。三桁や四桁のすべての数字を決まった番号に合わせると、その鍵は開きます。しかし、一つでも間違っているなら、開くことはありません。あなたは祈りの答えを得るために、鍵の番号を合わせるように、この法則を一つ一つ正しく適用していかなければいけません。

## 「主の祈り」は新約の祈りではない

祈りがかなえられる条件について学んでいく前に、「主の祈り」について正しく理解をしておきましょう。今日も、多くのクリスチャンたちは、習慣的に「主の祈り」をしています。しかし、この祈りは贖いが完成する以前、すなわち古い契約（旧約）の時代の中において、イエス・キリストが弟子たちに祈りの模範として示したものです。ですから今日、新しい契約（新約）の中に生きている神の子どもたちがこの祈りをする必要はありません。その理由を詳しく見ていきましょう。

天にいます私たちの父よ。御名があがめられますように。

御国が来ますように。

みこころが天においてなされているように地の上でもなりますように。

私たちのパン、必要なものを、今日私たちに与えてください。

私たちの負いめをお赦してください。

私たちも、私たちに負いめのある人たちを赦します。

私たちを試みに会わせないで、悪からお救いください。

国と力と栄光は、とこしえにあなたのものだからです。アーメン。

マタイ六・九―一三

まず、この祈りの中で、「御国が来ますように。」（一〇節）と言っています。御国とは、行動に表わされた神の力です。この祈りがなされたのは、旧約（古い契約）の時代の中であり、イエス・キリストによる贖いが完成していない時であったゆえに、神の御国はまだ来ていませんでした。「救い」がまだなかったのです。

しかし、現在私たちは新しい契約の下にいるゆえに、このように祈る必要はありません。なぜなら、私たちがイエス・キリストによる救いを受けたときに、御国が私たちの中に来たからです。神は地上において、ご自身の民のただ中に、霊的な支配を始められました。イエス・キリストがこのように言っています。

しかし、もしわたしが神の御霊によって悪霊どもを追い出すなら、そのとき神の国はあなたがたのところに来てくるのです。

マタイ一・二八

神の国は今日、世に力を示します。イエス・キリストを主として受け入れたあなたの中には、御国、すなわち神の力が存在しているゆえに、あなたはイエス・キリストが地上におられた時にしたように、悪霊を追い出すことができます。また、目が見えない人、耳が聞えない人や、肢体が不自由な人たちを解放することができます。

イエスは彼に答えて言われました。「もし、人がわたしを愛するなら、わたしのことを守ります。そして、わたしの父はその人を愛し、またわたしたちはその人のところに来て、その人と住まいをとみにします。

ヨハネ一四・二三

ここで「わたしたち」と言っているのは、天の父、イエス・キリスト、聖霊の三位一体の神のことです。神はあなたの中に生まれ、あなたを通して自由に働き

たいと願っておられます。しかし、クリスチャンのなかで、このことを理解していない人々が多くいます。彼らは御国を求めてこのように祈っています。「イエス様、あなたの力を注いで下さい。私たちの教会に来て、人々をいやしてください。」しかし、そう祈っている間も、彼らの中にはすでに、神の力が存在しているのです。

神があなたの中に住まれているなら、あなたはもはや「御国が来ますように」と祈ることはできません。

さて次に、「悪からお救いください。」（十三節）ということばを見てみましょう。イエス・キリストは二千年前、悪魔の力を打ち砕いて、すでにあなたを悪の支配から救い出してくださいています。そして、あなたがイエス・キリストを主として受け入れたときに、その救いはあなたにとって現実のものとなりました。あなたは、以前は悪の支配の中にありましたが、今は神の国の支配に移されています。あなたには神の子どもとしての特権があり、悪魔に対しての権威があります。それゆえ、今は悪魔はあなたを支配することができません。あなたはもはや「悪からお救いください。」と祈る必要はなくなったのです。

神は、私たちを暗やみの権威から救い出して、愛する御子の王国の中に移してくださいました。

コロサイー・一三

この聖句によると、私たちはすでに、「悪から救い出されている」のです。あなたがこの聖書の箇所を信じているなら、「悪からお救いください。」と祈ることとはできないはずで、そのように祈ることは、あなたが、自分はまだ救われていないと告白しているようなものです。それは不信仰の祈りなのです。多くのクリスチャンたちは、このような祈りをしているため、逆に悪魔に打ち負かされてしまっています。

パウロは、ガラテヤの教会の人たちにもこのように言っています。

キリストは、今の悪の世界から私たちを救い出そうとして、私たちの罪のためにご自身をお与えになりました。私たちの神であり父である方のみこころによつたのです。

ガラテヤー・四

また、「主の祈り」はイエスの名によって祈りません。新約の時代の祈りにおいて、私たちはイエス・キリストの名によって天の父に祈るようにと言われています。

「主の祈り」は旧約の時代の祈りであって、新約の時代に生きているクリスチャンにはふさわしくない祈りです。この祈りをただ儀式的に唱えても、それはオウムが話しているのと同じで、何の意味もないのです。

私は、古いパスポートを持っています。それはもう、期限が切れています。私があるを持って空港の出国カウンターに行き、「私はパスポートを持っているので、ここを通してください。」と言っても、「それはもう期限が切れていて使えませんよ。」と言われるでしょう。私が旅行するためにはパスポートを更新しなければいけません。同じように、私たちは私たちの祈り方を新約の方法に切り替えていかなければならないのです。

## 新約における祈りの方法

また、その日には、あなたがたは、何もわたしに尋ねません。まことに、まことに、わたしはあなたがたに言います。あなたがたが何でも、わたしの名によって父に求めるものは、父があなたがたに与えてくださいます。あなたがたは今まで、何もわたしの名によって求めたことはありませんでした。求めなさい。そうすれば受けるのです。それはあなたがたの喜びが満たされるためです。

ヨハネ一六・二三、二四

「その日」とは、新約（新しい契約）の時代のことです。イエス・キリストがまだ地上におられたときは、弟子たちは何かがあるとすぐにイエス・キリストの所へ行っていました。嵐が来たら、「先生、嵐が来ました。」とイエス様の所へ行つて、嵐を静めてもらいました。らい病人が来たら、イエス様の所に連れて行って、いやしてもらいました。しかし、イエス・キリストが十字架にかかって死なれ、三日目によみがえって天に昇り、天の父の右の御座に座られて新約（新し

い契約)の時代になって以来、私たちは、「イエスの名によって天の父に祈る」ようになりました。

今日、クリスチャンたちの祈りを聞いていると、ある人たちは「神様」と祈っており、ある人たちは「イエス様」と祈っています。また、「主よ」と祈る人たちもあれば、「聖霊様」と祈る人たちもいます。しかし、新約における正しい祈りは、この聖書の箇所書かれてある通りです。「天のお父様、イエスの名によって…してください。」と祈るのです。イエス・キリストは、他の箇所においても同じように言っています。

あなたがたがわたしを選んだのではなく、わたしがあなたがたを選び、また任命したのです。それは、あなたがたが行って実を結び、あなたがたの実が残るためであり、また、何であつてもあなたがたがわたしの名によつて父に求めるものを、父があなたがたにお与えになるためです。

ヨハネ一五・一六

また、多くのクリスチャンたちは、祈るとき、恐る恐る震えながらこのように

言います。「神様、もしみこころなら、もしあなたが許すなら、この祈りをかなえてください。」と。しかし、あなたは大胆に天のお父様の御前に出て、「ハレルヤ！天のお父様、イエスの御名によつて祈ります！」と、言うべきです。なぜなら、神の子どもであるあなたには、確信を持つて天の父に近づく権利があるからです。神のことはこう言っています。

ですから、私たちは大胆さをもつて恵みの御座に行くべきです。それは、私たちが憐れみを受け、また、おりになつた助けとなる恵みを受けるためです。

ヘブル四・一六

あなたがイエス・キリストの御名によつて「天のお父様！」と大胆に天の父の御座のところに行つて祈り求めるなら、その祈りはかなえられます。天の父は大胆に御前に来るクリスチャンに注目してください。

## 祈りがかなえられるための条件

あなたの祈りがかなえられるためには、まず、あなたが義人としての認識を持つことが必要です。イエス・キリストは、あなたのすべての罪を負って、それを処分してくださいました。それゆえあなたはキリストにあつて神の義とされています。あなたが義人としての認識を持って、大胆に天の父の御前に来て祈るとき、その祈りは聞かれるのです。

互いに過ちを告白し、また互いのために祈りなさい。あなたがたがいやされるためです。義人の祈りは働いて大きな力があります。 ヤコブ五・一六

なぜなら、主の目は義人の上に注がれ、主の耳は彼らの祈りに傾けられるからです。 ペテロ三・一二

天の父は義人であるあなたを見つめておられます。そして、「私の与えたいも

のがたくさんあるから、要求してきなさい。」と言って、あなたの祈りに耳を傾けているのです。

また、あなたの祈りがかなえられるために、あなたは神の命令を守り、神に喜ばれることを行なわなければいけません。多くの人たちはこの事をしていないゆえに、祈りが聞かれないのです。

また、何であつても私たちが求めるものを、私たちは神から受けます。なぜなら、私たちが神の戒めを守り、また神の御前に喜ばれることを行なっているからです。

ヨハネ三・二二

また、ヨハネはこのように言っています。

もし、あなたがたがわたしのうちにとどまり、またわたしのことばがあなたがたのうちにとどまるなら、何であつてもあなたがたの願うことを求めなさい。そうすれば、あなたがたにそのようになります。

ヨハネ一五・七

あなたがいつもイエス・キリストのうちにとどまっております、神のことばがあなたのうちに生きて働いているなら、あなたの祈り求めたものは与えられます。しかし、そうでないなら、すなわち、あなたが自分自身の思い、考えに従って歩み、神のことばから外れているなら、あなたの祈り求めたものは与えられません。祈りがかなえられるかどうかは、あなたの霊的な歩みにかかっているのです。ですから、あなたは、あなたの人生において、祈りが聞かれるために、いつも自身自身を吟味して歩まなければいけません。

また、祈りの結果を得るために、あなたは祈り求めたことへの答えを信仰によって受けなければいけません。多くの人たちは、目で見たら信じるという態度をもっています。しかしあなたは、一度祈ったなら、まだその答えを得ていないときに、受けたと信じなければいけません。イエス・キリストがこのように言っています。

また、すべてあなたがたが信じて祈りにおいて求めるものは、何でも受けるのです。

マタイ二一・二二

それゆえ、わたしはあなたがたに言います。すべてあなたがたが祈って求めるものは何でも、受けたと信じなさい。そうすれば、それがあなたがたになります。

#### マルコ一・二四

あなたが祈りの答えを現実の目で見る前に、それを受けたと信じるならば、それをあなたの口で言い表さなければいけません。たとえば、あなたがいやしのために祈っても、祈った直後に痛みや病の徴候がなくならなかった場合、「私はまだいやされていない。」と言ってしまふなら、祈ったことをあなたの口で否定することになるでしょう。しかし、まだ痛みがあつても、いやしを受けたと信じて、「天のお父様、いやしを受けたと信じて感謝します。」と口で言い続けていくなら、その信じて言った通りになります。

また、あなたは一回祈り求めたなら、何度も同じ事を祈ってはいけません。ただ祈りがかなえられていないと思つて、何度も祈り求めることは、不信仰によつて前の祈りを打ち消すことになります。そのような祈りは聞かれません。一回祈

れば、天の父は答えてくださるのです。イエス・キリストがこのように言っています。

また、あなたがたが祈るときは、異邦人のように虚しくことばを、くり返してはいけません。というのは、彼らはことば数が多ければ聞かれると思っっているからです。

マタイ六・七

あなたは一回祈ったなら、あとは、その答えを受けたと信じればよいのです。また、あなたの祈ったすべての祈りの答えは、感謝によって受けなければいけません。

何も思い煩ってはいけません。ただ、すべてのことにおいて感謝をもってささげる祈りと願いによって、あなたがたの求めを神に知らせなさい。ピリピ四・六

祈ったのち、まだその答えを受け取っていないときに、「天のお父様、この祈

りの答えを受けたと信じて感謝します。」と、信仰によって感謝をささげるのです。イエス・キリストもラザロをよみがえらせたとき、彼が生き返る前に、信仰によって、天の父に感謝をささげました。

… イエスは目を上げて、言われた。「父よ。わたしの願いを聞いてくださったことを感謝いたします。そして、わたしは、あなたがいつもわたしたちに聞いてくださることを知っていました。しかしわたしは、回りにいる群衆のために、この人々が、あなたがわたしをお遣わしになったことを信じるようになるために、こう言ったのです。」

ヨハネ一・四一、四二

イエス・キリストは、ラザロがよみがえる前に、天の父に感謝しました。あなたも、祈りの答えを受けるその前に、あなたが受けたと信じていることについて、感謝をささげなければいけません。あなたが感謝すればするほど、すばやく、祈りの答えが現実の世界にやってきます。パウロはテモテにあてた手紙の中で、神が造られたすべてのものは、感謝によって受けると言っています。

というのは、神が造られたすべてのものは良いものであって、感謝をもって受けるとき、一つとして捨てるべきものはありません。

テモテ四・四

## 祈りの答えを得る妨げ

では、これから祈りの妨げになるものをいくつか見ていきましょう。まず、悪い動機で祈るなら、その祈りは聞かれることはありません。

あなたがたは求めても受けません。なぜなら、あなたがたが自分の快樂のために使おうとして、悪い心で求めるからです。

ヤコブ四・三

たとえば、あなたが「天のお父様、パチンコに行くので一万円ください。」と祈り求めても、その祈りは悪い動機から出ているので、聞かれることはありません。また、アメリカにおいて、すでに夫も子どももいる婦人と、結婚できるようにと祈った男の人がいます。しかし、そのような願いが聞かれることはありません。なぜなら、それは自分の欲によって動かされた自己中心的な祈りだからです。また、あなたに罪があるなら、あなたの祈りは聞かれません。

もし、私の心の中に咎があるなら、主は私に聞いてくださいません。

詩篇六六・一八

多くのクリスチャンたちは、罪があるゆえに、祈りが答えられていません。私たちは完全でないので、時々あやまちを犯すことがあります。それは天の父も知っています。しかしあなたは、あやまちを犯したなら、すぐに悔い改めて、「天のお父様、イエス・キリストの名によってわたしの犯した罪を赦してください。」と言うべきです。そうしないなら、悪魔が働いて、あなたの祈りの答えが止められてしまいます。あなたは、神の前に出て、正しい、義人の道を歩んでいるかどうか、いつも自分を吟味しなければいけません。罪のない状態を保つていかなければいけません。

次に、イエス・キリストは、人々を赦さないならそれは祈りの妨げとなると言っています。

また、あなたがたが、立って祈っているとき、だれかに対して何か(悪い思い)

を持つてゐるなら、赦しなさい。そうすれば、天におられるあなたがたの父も、あなたがたの罪を赦してください。しかし、もしあなたがたが赦さないなら、天におられるあなたがたの父もあなたがたの罪を赦してくださいませぬ。

マルコ一・二五、二六

あなたが人々を赦さないなら、天の父もあなたを赦してくださいと申すています。そのようであるなら、あなたがどんなに祈つても、その祈りがかなえられることは絶対にはないのです。ですから、あなたはいつも人々を赦す心をもって歩んでいかなければいけません。

悪魔はあなたを逆上させようとしたり、人々に対しての悪い思いを持つてきたりして、あなたに人を赦さないようにさせようと働いています。あなたは、イエス・キリストによって罪赦された者です。そうであるならば、あなたは、あなたに対して悪口を言う人をも赦さなければいけません。あなたの祈りが妨げられないために、あなたは赦していない人がいるかどうか、自分自身を吟味して歩まなければいけません。

最後に、祈るときに心配したり、思い煩ったりするなら、それが祈りの妨げになります。

何も思い煩ってはいけません。ただ、すべてのことにおいて感謝をもってささげる祈りと願いによって、あなたがたの求めを神に知らせなさい。

ピリピ四・六

神のことばによれば、心配は罪です。あなたが、心配や恐れや不安、思い煩いや疑いなどの悪い思いを持つているなら、悪魔がそこに働いて、祈りが妨げられてしまいます。ですから、いつも、それらの思いをイエスの名によって退けて、祈りに答えてくださる神の約束のことばに立ち続け、平安のうちに歩んでください。

あなたがこれらの神のことばを心に留め、神のことばに沿った祈りをするなら、その祈りは完全に働きます。祈り求めたことの答えを一〇〇%得ることができるのです。

## 既刊書籍

- 「すべてのことについて感謝することは」  
フレッド・プライス  
A6判38頁 定価210円
- 「偉大な信仰を築き上げる秘訣」  
アーニー Y. シモムラ  
B6判222頁 定価1,050円

## 2003年発刊予定

- 「あなたの知らないイエス・キリストの愛」  
アーニー Y. シモムラ

## どのように祈り、その答えを得るか

2002年12月10日 定価（本体200円+税）

著者 アーニー Y. シモムラ  
発行 名古屋クリスチャンセンター教会

〒465-8691 名古屋名東郵便局私書箱41号  
e-mail : mail@nagoya-christian.com  
URL : <http://www.nagoya-christian.com>

落丁・乱丁はお取り替え致します。

ISBN4-901511-01-7 C0016